

令和8年度募集

認知症看護認定看護師教育課程（2期入学選考試験問題）

専門科目 I

以下の問いを読み、当てはまる番号を1つ選び回答欄に記入しなさい。

【問題 1】 2021年の国民生活基礎調査で次の世帯構造のうち最も少ないのはどれか。

1. 単身世帯
2. 三世帯世帯
3. 夫婦のみの世帯
4. 夫婦と未婚の子のみの世帯

【問題 2】 2022年の調査において、年齢階級別にみた主な死因として正しいのはどれか。

1. 90歳以降では「老衰」が第1位である。
2. 75～79歳では「肺炎」が第1位である。
3. 80歳以上では「自殺」が第3位である。
4. 100歳以上では「悪性新生物」は含まれない。

【問題 3】 健康寿命の説明で適切なのはどれか。

1. 生活習慣病の予防は健康寿命を延ばす。
2. 2019年の健康寿命は2016年よりも短い。
3. 2019年の健康寿命は女性より男性のほうが長い。
4. 平均寿命と健康寿命の差は健康上の問題なく日常生活ができる期間である。

【問題 4】 高齢者に対する生活史の聴き方で適切なのはどれか。

1. 認知機能の評価尺度を用いる。
2. 事実と異なる聴取内容を訂正する。
3. 話を聴く前に文書による同意を得る。
4. 高齢者が話しやすい時代の思い出から聴く。

【問題 5】 老年期の心理社会的葛藤を「統合」対「絶望」と表現した人物はどれか。

1. ペック, R.C.
2. バトラー, R.N.
3. エリクソン, E.H.
4. ハヴィガースト, R.J.

【問題 6】 認知症施策推進大綱で示される施策について、正しいのはどれか。

1. 認知症予防
2. 普及啓発・本人発信支援
3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
4. 認知症バリアフリーの推進・認知症高齢者の社会参加支援

【問題 7】 令和3年度(2021年)「高齢者虐待防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査」の結果において、養護者による高齢者虐待に関する説明で正しいのはどれか。

1. 夫による虐待が最も多い。
2. 被虐待者の9割が女性である。
3. 心理的虐待が全体の6割を占めている。
4. 被虐待者は認知症が見られる高齢者が最も多い。

【問題 8】 成年後見制度について正しいのはどれか。

1. 任意後見人は裁判所が決定する。
2. 認知症の診断と同時に成年後見制度が適用される。
3. 日常生活自立支援事業の一部として位置づけられる。
4. 成年後見人は財産管理など手続きを本人の代理で行う。

【問題 9】 高齢者の特徴について正しいのはどれか。

1. 回復期間は成人と変わらない。
2. 日常生活動作の低下は少ない。
3. 加齢に伴い予備機能が低下している。
4. 知覚閾値の上昇により典型的な症状が出る。

【問題 10】 エンドオブライフケアとそれに関連する用語の説明で、適切なのはどれか。

1. 緩和ケアは、緩和ケア病棟で看護師がおこなうものである。
2. ターミナルケアは、余命1ヶ月と診断されてから開始される。
3. エンドオブライフケアは、本人が死を意識したところからはじまる。
4. 緩和ケアは、がん患者を対象とした身体的苦痛の緩和を旨とするケアである。

【問題 11】 老人の身体的な特徴はどれか。

1. 総水分量が増加する。
2. 胸腺の重量が増加する。
3. 嗅覚の閾値が低下する。
4. 高音域における聴力が低下する。

【問題 12】 加齢に伴う排泄能力の変化について、正しいのはどれか。

1. 尿の濃縮力が高まり脱水を生じやすい。
2. 腸管の運動機能低下により便失禁を生じやすい。
3. 膀胱の弾力性が低下し排尿後も残尿が生じやすい。
4. 身体疾患に対する内服薬が原因となる医原性下痢を生じやすい。

【問題 13】 加齢に伴う栄養と代謝の変化について、誤っているのはどれか。

1. 水分の再吸収機能が低下するため下痢や嘔吐が無くても高張性脱水を生じやすい。
2. 蛋白質・エネルギー低栄養 (protein-energy malnutrition:PEM) を生じやすい。
3. 基礎代謝や身体活動が減少し、消費エネルギーが低下するため肥満傾向を生じやすい。
4. 加齢に伴う筋肉量の低下によって筋力や身体機能が低下したサルコペニアを生じやすい。

【問題 14】 高齢者の薬物動態で正しいのはどれか。

1. 薬物吸収の亢進
2. 薬物代謝の亢進
3. 薬物の排泄の増加
4. 血中濃度の半減期の延長

【問題 15】 介護保険制度について、正しいのはどれか。

1. 保険者は各都道府県である。
2. 介護保険の財源はすべて介護保険料である。
3. 介護保険法で定められた「特定疾病」は、36 疾病である。
4. 第 2 号保険者は 40 歳以上 65 歳未満の医療保険加入者である。

【問題 16】 介護保険制度に基づく入居施設として、誤っているのはどれか。

1. 軽費老人ホーム
2. 介護老人福祉施設
3. 介護老人保健施設
4. 認知症対応型共同生活介護

【問題 17】 介護保険の給付はどれか。

1. 年金給付
2. 予防給付
3. 休職者給付
4. 教育訓練給付

【問題 18】 地域包括ケアシステムについて、正しいのはどれか。

1. 認知症高齢者はサービスの対象にふくまれていない。
2. 医療・介護・予防・生活支援が一体的・包括的に行われる。
3. 高齢者が自立した生活を営む為の、全国一律に提供される仕組み・体制である。
4. 必要なサービスがおおむね 60 分以内に提供される日常生活域がひとつの単位である。

【問題 19】 地域包括支援センターの機能として、誤っているのはどれか。

1. 高齢者虐待の相談
2. 要介護認定審査の実施
3. 介護予防事業計画の作成
4. 介護支援専門員の相談対応・助言

【問題 20】「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の7つの柱に含まれないものはどれか。

1. 介護者支援
2. 若年性認知症
3. 精神病院における老人精神障害者対策
4. 認知症など高齢者にやさしい地域づくり

【問題 21】緊急やむをえない場合の身体拘束の要件として、誤っているのはどれか。

1. 他害性
2. 一時性
3. 切迫性
4. 非代替性

【問題 22】せん妄について、正しいのはどれか。

1. 意識障害はない。
2. 急激に悪化する。
3. 会話の理解は可能である。
4. 認知機能の低下は不可逆的である。

【問題 23】認知症を説明しているのはどれか。

1. 知的発達の遅延
2. 意識障害の出現
3. 全身の筋肉の進行性委縮
4. 一度獲得した知的機能の衰退

【問題 24】軽度認知障害（MCI）について、正しいのはどれか。

1. 一過性の障害である。
2. 実行機能障害がある。
3. 物忘れを自覚している。
4. 日常生活動作（ADL）が障害される。

【問題 25】 神経病理に関連する用語の説明として、正しいのはどれか。

1. 老人斑 — タウ蛋白の蓄積
2. レビー小体 — 副交感神経の亢進
3. 小血管病性認知症 — ラクナ梗塞、白質病変
4. 神経原線維化 — アミロイドβタンパクの凝集・線維化

【問題 26】 認知症の認知機能評価に用いられないのはどれか。

1. カッツ・インデックス
2. 柄澤式老人知能の臨床的判断基準
3. Mini-Mental State Examination (MMSE)
4. 臨床認知症評価尺度 (Clinical Dementia Rating : CDR)

【問題 27】 長谷川式簡易知能評価スケール改訂版 (HDS-R) の説明で、正しいのはどれか。

1. 教育歴が検査結果に影響しない。
2. 10 項目の質問で構成されている。
3. 21 点以上が非認知症とされている。
4. 動作性検査 (文章記述・図形模写) が含まれている。

【問題 28】 認知症の頭部画像検査について、誤っているのはどれか。

1. 磁気共鳴断層撮影 (MRI) は、脳の血管走行をみる。
2. コンピューター断層撮影 (CT) は、脳の形状をみる。
3. 陽電子放射線断層撮影 (PET) は、脳の糖代謝をみる。
4. 単一光子放射線断層撮影 (SPECT) は、脳の血流をみる。

【問題 29】 アルツハイマー型認知症の患者に見られる実行機能障害はどれか。

1. シャツを前後反対に着る。
2. 調理の手順がわからなくなる。
3. 物音がすると食事を中断する。
4. 鏡に映った自分の姿に話しかける。

【問題 30】 早期に治療を行えば治癒する可能性の高い認知症の原因疾患として、正しいのはどれか。

1. 脊髄小脳変性症
2. 慢性硬膜下血腫
3. ビンスワンガー病
4. 進行性核上性麻痺

【問題 31】 認知症の薬物療法として、正しいのはどれか。

1. ガランタミン臭化水素酸塩 — 1日1回の内服方法である。
2. リバスチグミン貼付剤 — 抗コリン薬としての作用はない。
3. ドネペジル塩酸塩 — 消化器系の副作用が出現しやすい。
4. メマンチン塩酸塩 — 身体疾患の有無に関連無く投与が可能である。

【問題 32】 アルツハイマー型認知症について正しいのはどれか。

1. 被害妄想が主症状である。
2. 後頭葉の血流低下を認める。
3. 手続記憶は中等度でも保たれる。
4. 早期からコミュニケーション能力が低下する。

【問題 33】 血管性認知症について誤っているのはどれか。

1. 被影響性が促進する。
2. 緩徐進行型が最も多い。
3. 活動性は低下しない。
4. 症状は段階的に進行する。

【問題 34】 前頭側頭型認知症について正しいのはどれか。

1. 脱抑制が出現する。
2. 薬物の過敏性がある。
3. 認知機能の日内変動がある。
4. 短期記憶障害が顕著である。

【問題 35】 レビー小体型認知症について正しいのはどれか。

1. 病識の欠如がある。
2. 初期に記憶力の障害を認める。
3. 中期以降にパーキンソン症を発症する。
4. 覚醒レベルの変動により認知機能は変動する。

【問題 36】 行動・心理症状 (BPSD) の行動症状で誤っているのはどれか。

1. 焦燥
2. 幻覚
3. 妄想
4. 幻視

【問題 37】 抗認知症薬について正しいのはどれか。

1. ガランタミンは貼付剤である。
2. ドネペジル塩酸塩とリバスチグミンは併用が可能である。
3. コリンエステラーゼ阻害薬の主な副作用はめまいや頭痛である。
4. メマンチンは中等度から高度のアルツハイマー型認知症に適応となる。

【問題 38】 認知症の人への関わり方について、正しいのはどれか。

1. 生年月日や出生地を伝え、記憶を強化する
2. 共感的に対応することで心理的安定を図る。
3. 生活行動を見守り、誤りがあれば修正する。
4. 見当識障害に対しては、繰り返し日付や場所を確認する。

【問題 39】 認知症の中核症状はどれか。

1. 幻聴
2. 抑うつ
3. 希死念慮
4. 見当識障害

【問題 40】アルツハイマー型認知症の進行に伴うコミュニケーションの特徴について誤っているのはどれか。

1. 初期では、名詞がすぐに出にくい。
2. 中期では、感情の表現がなくなる。
3. 中期では、抽象的な表現が難しくなる。
4. 後期では、文法や語法が失われ会話が困難となる。

【問題 41】認知症高齢者とのコミュニケーションで適切なのはどれか。

1. 説得するように話す。
2. 作話があっても話を聞く。
3. 一度に多くの情報を伝える。
4. 同じ内容を繰り返している場合は会話を終了する。

以下の事例を読み、【問題 42】～【問題 44】に対する解答を一つ選んでください。

A氏は82歳女性。夫、長女、長女の夫、長女のこどもの5人暮らしである。

1年ほど前から、夜間の就寝後、大きな声で「来ないで！」と言って、手足を大きく振りまわすことがあった。夫が「俺だよ！」と言っても夫の手を振り払ったが、目はうつろで、朝になって起床すると覚えていないことが何度もあった。また、ハンガーにかけられた夫のコートと帽子を見て「おじさんが壁に寄りかかっているのよ」などという発言が増えた。家族が認知症を疑い、受診したところレビー小体型認知症と診断され、薬物療法が開始となった。

【問題 42】 A氏の自宅での下線部の夜間の症状で、もっとも考えられるのはどれか。

1. 被害妄想
2. 夜間せん妄
3. 薬剤過敏性
4. レム睡眠時行動障害

【問題 43】 A氏のレビー小体型認知症の薬物治療として、生じやすいのはどれか。

1. 転倒
2. 誤嚥
3. 薬物過敏性
4. 起立性低血圧

【問題 44】 A氏の家族に対する説明について適切なのはどれか。

1. 人影に見えるものは片づける。
2. 部屋の照明をつけたままにする。
3. 家の中に他人はいないと説明する。
4. 窓のカーテンは開けたままにする。

以下の事例を読み、【問題 45】～【問題 47】に対する適切な答えを一つ選んでください。

B氏は45歳男性。B氏の実母、妻、長男、次男、ペットの猫と暮らしている。会社員の営業担当で、売り上げもトップ成績であった。半年前より顧客の名前や顔を忘れることや、商談の日程が重複していることを同僚から指摘されるようになった。自宅では可愛がっていた猫の名前を忘れる様子や携帯電話や財布を紛失する様子があり、妻が心配して内科外来を受診した。当時は体調に異変もなく、検査結果も正常であったが、症状は改善せずさらに半年後、認知症相談を受診したところ、若年性のアルツハイマー型認知症と診断された。

【問題 45】 B氏の認知症の下線部の症状で、考えられるのはどれか。

1. 記憶障害
2. 抑うつ
3. 睡眠障害
4. 脱抑制

【問題 46】 B氏の生活への指導として、適切なのはどれか。

1. 仕事を休養する。
2. 介護保険を申請する。
3. 金銭管理は妻が行う。
4. ピアサポートを紹介する。

【問題 47】 B氏への看護として、適切でないのはどれか。

1. しばらく仕事を休み体調を整える。
2. 家族を含め信頼関係の構築に努める。
3. 職場へ診断を伝える方法を一緒に考える。
4. B氏の気持ちをありのままに受け止める。

以下の事例を読み、【問題 48】～【問題 50】に対する適切な答えを一つ選んでください。

C氏は88歳女性。長男夫婦と3人暮らしである。既往歴に軽度のアルツハイマー型認知症がある。肺炎を発症して入院となった。入院中は「ここはどこですか?」と繰り返し聞いていたが、看護師が説明すると「ああそうですか。肺炎で入院ね…」と話していた。肺炎は改善し退院可能となったが、長男の嫁が手術目的で入院したことにより、C氏は長男の希望で介護老人保健施設へ入所することになった。

施設入所当日の夜、C氏は「家に帰ります」といって荷物をまとめてスタッフステーションにやって来た。職員が家族の事情により入所中であることを説明するとしぶしぶ納得していたが、入所後3日目に「なんで帰ってはいけないのよ!」と大きな声で訴え怒ってしまった。

【問題 48】 入院中に生じた下線部の中核症状は次のうちどれか。

1. 失認
2. 記憶障害
3. 見当識障害
4. 実行機能障害

【問題 49】 施設入所後の下線部への説明として、適切なのはどれか。

1. ひとりで外出するのは控えるよう説明する。
2. 朝になったら家族が迎えに来ると説明する。
3. 同室者に迷惑になるため静かにするよう説明する。
4. 帰りたい気持ちに寄り添い心配なことを話すよう説明する。

【問題 50】 C氏が生活しやすいような関わり方として、適切でないのはどれか。

1. 日中に家族との面会の機会を作る。
2. 興奮が収まるまで個室に入室してもらう。
3. 夕方から夜間にかけてリラクゼーションの機会を作る。
4. 家族の手紙を用意しておき入所の説明と一緒に読んでもらう。